



ひっぴのだより

No.12, 2013, 2, 27

トン、トン、トン、トコトコタタタタ...♪

ある日帰りの絵本の時間、山の上から誰かが木をたたいているような音が聞こえてきます。ぴっぴの森は谷間にあるので空から音がはいてくるようです。

泰雅「あれ？何か音がするよ。」海斗「大工さんかな...？」

健太「... (音を聞きながら) 違うな...。人間はこんな風に速くかなづちを打てない。」

—— いざら音聞き皆考えている —— 大寺「きつきた！みにいきたい！」

くりの皆も声をそろえて「みにいきたい！みにいきたい！」

キツツキの木をつく音(ドラミング=速さは¹⁰⁰秒1秒)は『春の知らせ』です。冬、聞こえることはあまりなく、春に向け、木に音でアピールし、オスに縄張りや強さを主張したりします。

ツルルル ツピツピ ツツピ——♪

枝の上に小鳥がやってきて可愛い声で歌っています。子どもたちと絵本を読んでいると、周りによく、小鳥やリスがやってきます。2月に入ってから光のあたたかい日にはエナギやシジュウカラのさえずりが聞こえはじめました。キツツキと同じ『春の知らせ』です。

呂蔓がその声に気づき、「イロコ音...？」と顔をきょろきょろさせていました。

一面、真、白になった朝、風でさらさらーと梢から雪が舞い落ち、日の光で輝く様子に両手をあげ、「きゃー！きれいー！」と大歓声をあげて走ってくる渚月。

ふかふかの雪の中に寝転んで、青い空をみあげながら「ほ〜。」とうっとりしている明日香。「これ、乗敵！かわいい！みてみて！」と吹雪の中、空から降ってくる結晶をみているせつ。行人は「お水が冷たくなってツルツルになったね。また温かくなると水になるね。」

子どもたちは寒い冬の森の中で毎日、歌い、遊び、雪と戯れ、風を感じてきました。ゆっくりと進んでいく小さな小さな、自然の変化は、日々こうして聞いているからこそ、感じられることなのではないでしょうか。

子どもたちもこの1年、じっくり、じんわりと森の中で、そして仲間達の中で育ってきました。森や小鳥たち以上にお互いの気持ちに気づき、共に楽しみ、会話が増え、かわり合いが増え、これからさがることも増えて...でも微笑み合い、手をつないで、共に歩みが、たり... そんな姿をこの冬にたくさんみることができました。

今、春を待つ木の芽のようにまじまじと育っているものを考えると、米春が本当に楽しみです。(文中 敬称略)

菜々丸



おおきくみだより

1月29日おおきくみ、冬のお料理の日。前回の相談でメニューはラーメンとポツポツに決定。ラーメンにはワンタンと野菜炒めも入れることにし、味噌汁も豪華版。まずは野菜を切るお仕事。手を洗ってからまずは板の前に順番に並び、じんじんややバツ玉ねぎを切ります。「手を洗った人は、もう手を洗った人床に手を着いていいよ〜そうしたらもう一度洗いにいってきね」と美穂さんが言すと、大寺「あ、いはいはいはいはい〜」愛莉「じゃーんさわいさわい」と自己申告で何度も洗いにいってきね。じんじん切ってます！やバツも切ってます。でも玉ねぎは涙が出るからヤダーという声があちこちから... それを聞いて後太「玉ねぎは冷やしてから切るといいんだよ。」海斗「口を開いてきま切ると涙が出ないよ。」みんな「本当??」次に玉ねぎを切る人があ〜と口を開いてきま切ってます！みんな笑ってしまいました。もう慣れたもので野菜も切るのはみんな手際がいいこと。ワンタンも具を入れて三角に折り込んでいって、茹で終わったらラーメンに炒めた野菜ともちもちのワンタンをのせて、いってきねす！「おいしい」「ラーメンやさんかたい」「ラーメンやさんぶりやまい」と次々おかわり。食後のポツポツも弾けては「うーい！」「うーい！」「うーい！」「うーい！」「うーい！」と盛り上がり、美味いおいしい一日となりました。

2月14日はおおきくみ電車の旅。しほの金沢道と上田電鉄に乗って別所温泉へ出かけました。信濃最速命取からしほの金沢道に乗ると「まつぼっくりさん、窓の席に替わってあげよう。こっちの方が外が見えるよ」と後太が海斗に声をかけ、通路側にいた泰と吳瑛を窓側の席に座らせてあげています。海斗は「おおきくさんと電車で行くのはもう最後？まだ清里までいってきね」と窓の外を眺めています。電車に乗るとくりさんたちは清里のことと思い出さようですね。帰りの車内でも行人が「オレ、今度の清里キャンプではリーダーかな？」隣にいた吳瑛に「こういって同じグループでいってきね、ねえグループの名前どうする？シンゲンジャー？フォーエバー？」聞かれています。吳瑛も「シンゲンジャーかな」と清里への思いをぶくませているようでして。別所温泉ではみんなゆづり足湯につかりました。海斗は「あー足がポカポカ、帰りは裸足でもいいかも。」確かに帰りの暖房のさいて車内ではみんな「暑いあつい！」と着ているものをどんどん脱いでも顔が真っ赤。日頃外の寒さに慣れているみんなは暖か過ぎました。車内では「順番に一番前の運転席もじっくり観察。權は「運転席って数字がいろいろいっぱいあってカッコイイ。」くりさん、まつぼっくりさんが「こくさん」会話をせりせりつつ、電車と温泉を楽しみつつ一日でした。(文中、敬称略)

美和子

ひっぴの森の木の实たち (オニグルミ)



ひっぴの森や軽井沢の森にある胡桃の木はオニグルミという名で「おに」というのは東郷市などでよくみられるくるみと違い殻が非常に固く割りにくい。というところからついたそうです。その殻をリスやネズミは「カリカリ... ジジジジ...」と首回していきま。リスはきれいに半分に割り、ネズミはちやうど棒子が入っている部分をめがけて両側からかじっていくのです。雪がとけると、冬の間、食糧にしていたくるみの食べ跡が森にたくさん落ちているのがみつけられますよ。



お知らせ

。来年度 ひび継続の皆さまへ

この ひびだよりと いっしょに 生活調査票を同封いたしました。
左ページ変更事項の書きかえ。 右ページ 生活や 健康についてお書きくだ
さい。

3/6(水)頃までに ひびに もどしていただきますようお願いいたします。

。ありがとうの会について

今年度 最後の日を 親子一緒に 過ごします。 この一年の歩み・育ちを
みんなでお祝い。 いろいろな事への ありがとうを伝え合い。 今年度を大切に
締めくくりたい と思います。

日時 3月15日(金) A.M 9:00 ~ 9:15 集合

A.M. 9:20 開始。 お昼頃 解散

場所 ひびの森

持ちもの 親子分のお茶と水筒に。

。巣立ちの集いについて

新一年生になる4人と。 そのご家族と スタッフ の集いです。

いよいよ4人を 送り出す時が来ました。 はか子と 育ち合ってきた 濃い日々は。

一人ひとりの はか子 ぎゅっと つまみついて。 これから出会う ひとつ一つを 乗り越える
力に 励んでいこう。 きっと... だいじょうぶ!!

最後の日。 ご家族の方々と4人の成長を喜び合い、新しい出発を お祝いしたいと
思います。

日時 3月15日(金) P.M 2:00 ~ 4:00 頃

場所 バイタル メインホール

持ちもの 親子分のお茶と水筒に。

